

はくぶつかんネット

第9号

～ GINOWAN MUSEUM ～



▲ 第2期わらば一体験じゅくのメンバー

第3期(平成14年6月～平成15年2月)

わらば一体験じゅく メンバー募集

※対象は市内在住の小学5・6年生 / 定員30名

募集×切：平成14年5月26日(日) 午後5時



博物館イメージキャラクター
天女ちゃんと察度

- ◆ 日 時 平成14年6月～平成15年2月までの毎月第3土曜日
 - ◆ 対 象 者 宜野湾市内在住の小学5、6年生
 - ◆ 定 員 30名
 - ◆ 参 加 費 保険料 毎月100円(必要に応じて材料費を徴収)
 - ◆ 申込方法 申込用紙に記入し参加する本人が博物館まで提出してください。
- ※募集×切：平成14年5月26日(日)午後5時まで
- ◎応募者多数の場合は各学校、学年、男女のバランスを考え、その上で抽選により選びます。

平成12年度から始まった「わらば一体験じゅく」も、今年度で第3回目をむかえ、そして第3期「わらば一体験じゅく」が6月に開校します。

「わらば一体験じゅく」とは、学校や家庭ではできない体験を一年間を通して行い、身近にある歴史や文化、自然などを体験しながら学ぶところです。今回も市内在住の小学5、6年生を対象に30名程度のメンバーを募集します。

そこで博物館より「わらば一体験じゅく」への参加に関して、お願いがあります。実は過去2年間市内の子どもたちが参加し、様々な体験を行ってきましたが、中には途中で参加しなくなってしまうたり、毎月あまり参加できなかったりする子どもたちがいました。わらば一体験じゅくのメンバーは応募者が多数の場合は抽選になってしまうので、抽選からもれて参加できない人もでてきます。せっかくメンバーに選ばれたのに来られなくなってしまうのは残念ですし、参加したくてもできなかった人のためにもメンバーになった人には最後まで頑張ってもらいたいです。そこで今回わらば一体験じゅくに参加したいという人には、「毎月頑張っていきたい」「ぜひいろいろな体験をしてみたい」「メンバーに選ばれたら一年間頑張れる」という気持ちを持った人の応募を願っています。

平成13年度 第2回講演会

「じのーん(宜野湾市)の移民たち」講演会の報告

市立博物館では去った3月30日(土)に、平成13年度第2回講演会を行いました。「じのーん(宜野湾市)の移民たち」と題して仲地哲夫先生(沖縄国際大学教授)による移民の概要についての講演と、実際に移民を経験なされた座喜味成秀さん(野嵩出身)による体験談の2本立てで行いました。

仲地先生からは移民の要因や当時の沖縄の暮らしぶり、市出身の移民の方への聞き取り調査など、移民全般について分かりやすくお話ししていただきました。また市内の移民調査の必要性にも触れ、今後の調査研究について考えさせられました。

体験談は終始ウチナーグチが飛び交い、なごやかなムードの中、参加者は座喜味さんの話を熱心に聞き、感激していました。

今回の講演会・体験談は当初の予定が1時間30分でしたが、1時間近くオーバーするなど、充実した内容で参加者からも大変好評でした。



▲ 体験談の様子
座喜味さんを囲んで...

◎平成14年度は年に2回の講演会が4回に増えました。

今年度も様々な企画を提供していきたいと思います。市民の皆さんもぜひ参加なさってください◎

常設展示室のご案内

◆ 宜野湾人の顔 ◆

展示期間：平成14年4月10日～7月8日

常設展示『宜野湾人の顔』の展示替えをしました。

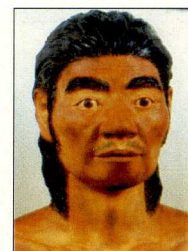
今回は普天間2区の方々です。明治から昭和生まれの先輩方7名と、小学生8名の計15名の顔写真を展示しております。この展示は今年の7月8日(月)までの予定です。

『宜野湾人の顔』は現在市内に住んでいる方々の紹介となっておりますが、この展示があるエントランスコーナー全体を通してみると、人類の進化やその時代時代による人の顔の移り変わりについて知ることができます。

この『宜野湾人の顔』の展示は、開館当初から市内の各自治会の協力を得て、約3ヶ月ごとに展示替えを行っております。

次回は、野嵩1区の方々を紹介する予定です。

『宜野湾人の顔』の展示を見学する際に、常設展示室観覧料が必要となりますことを、ご了承ください。



▲ 安座間原人

寄贈ありがとうございました

博物館では、宜野湾を中心とした、さまざまな生活用品や当時の暮らしが分かる道具などの収集に力を入れています。今年度も市内外の方々のご協力により、平成13年11月から平成14年3月までの5ヶ月間に、たくさんの資料を寄贈していただくことができました。その数は、183点になります。

- 貝澤 徹（北海道）：ムックリ（アイヌ伝統楽器）1点
- 貝澤 薫（北海道）：カリップ（アイヌ子どもの遊び道具）1点
- 貝澤 かつえ（北海道）：マトンプシ（アイヌ男性用ヘアバンド）1点
- 木村 八重子（北海道）：アットゥシ織り袋物（アイヌ小物入れ）1点
- 伊佐 武雄（大山）：懐中時計 1点 他4点 ○嘉数自治会（嘉数）：和文タイプライター 1点 他6点
- 信岡 豊子（普天間）：緑の羽パッチ 30点 他77点
- 石川 ヨネ（真志喜）：チューカー 1点 他2点 ○切手の博物館（東京都）：切手 47点
- 喜屋武 菊（新城）：卓上タバコセット 1点 ○金城 善和（普天間）：キーウーシ 1点 他2点
- 清水 丈夫（真栄原）：カーミ（壺）1点 ○佐喜眞 昇（神山）：体重計 1点
- 19区自治会（愛知）：電気炊飯器（電気がま）1点 他1点
- 大嶺 ウシ（那覇市）：機関銃 1点 ○金田 いぶき（北海道）：パーキ 1点

～みなさま、ご協力ありがとうございました～

今回寄贈していただいた資料は、平成14年11月開催予定の「第3回新収蔵品展」にて、展示させていただきます。

◆ひきつづき、資料の収集もおこなっております。これは！と思うものを、お持ちの方、博物館までご連絡ください。職員が、すぐに駆けつけます。

ご協力ありがとうございました

市立博物館の事業が成功できましたのも、多くの方々のご協力のおかげです。平成13年度を前半（4月～10月）と後半（11月～4月）に分け、事業協力者を紹介し紙面にてお礼とさせていただきます。前半はネット第6号に掲載しましたので、今回は後半の事業協力者を紹介します。

- 高原建二（大山自然観察会の講師：第6回わらばー体験じゅく）
- 石川重正・伊佐寛雄・石川盛次・宮城徳康（ターンム収穫：第7回わらばー体験じゅくの講師）
- 喜屋武菊・比嘉文子・島崎真由美（沖縄そば・ムーチャーづくり：第9回わらばー体験じゅく）
- 仲村新淳・宮城豊（第6・7・8回わらばー体験じゅくのバス運転手）
- 友利知子（「宜野湾の食と年中行事展」記念講演会の講師）
- 聞き取り調査・アンケート調査協力者（市内在住20代～90代の女性455名）、
- 市内の各自治会・婦人会・老人会の役員（「宜野湾の食と年中行事展」協力者）
- 仲地哲夫（第2回講演会の講師）
- 座喜味成秀（第2回講演会の体験談）



～ご協力、ありがとうございました～

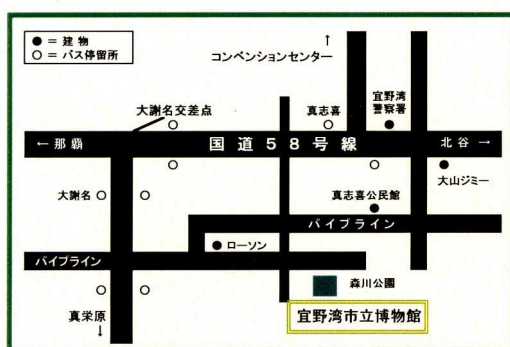
平成14年度の事業あんない

月	日	曜日	内 容	期 間
5	9	木	第3期 わらば一体験じゅく メンバー募集	5月26日(日) 午後5時まで
6	15	土	第3期 わらば一体験じゅく 開校式 ○対象は市内在住の小学5・6年生 / 毎月第3土曜日	来年2月まで
7	27	土	企画展「宜野湾市の海と人々との関わり(仮名)」 ○期間内に、海の観察会などのイベントを用意しております	9月1日まで
9	中旬		平成14年度 市内小中学生文化財図画作品展	展示期間は約1週間
10	上旬	土か日	平成14年度 第1回講演会 「闘牛について(予定)」	
	下旬	土か日	平成14年度 第2回講演会 「市内の洞窟めぐり(予定)」	
11			第3回 新収蔵品展	
12	上旬	土か日	平成14年度 第3回講演会 「しめ縄作りかバーキ作り(予定)」	
1	下旬	土か日	平成14年度 第4回講演会 「古酒のつくり方(予定)」	
2			企画展「宜野湾・沖縄のなつかしい風景(仮名)」	

※ 日時や内容は未定のものがありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098 - 870 - 9317

FAX : 098 - 870 - 9316

ホームページ : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日の
午前9時～午後5時

※ 入館は午後4時30分まで



◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

◎ 常設展示室 観覧料

	大人	高校・大学生	小・中学生
個人	200円	100円	50円
団体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上から